



し、多くの研究会や行事を企画することが可能となるでしょう。いち早く所内外の人々が集う活気ある場所に戻り、コミュニティの輪を拡げていきたいと思えます。新たなアイデアや共同研究に繋がる対面の機会を積極的に設けますので、多くの方々の柏キャンパス訪問を期待します。

私の所長としての重要な任務は、第四世代の物性研へ向けて橋渡しをすることだと考えています。キャンパス移転のような大事業もなく、施設の時限も撤廃された結果、組織変革のチャンスを見出すことは困難になっていますが、それでもどこかで見直しを始めなければ組織はジリ貧をたどるものと危惧します。私の任期は3年と限られており、また拙速な改革も危ういことから、まず将来構想ワーキンググループを立ち上げ、次なる物性研の指針について突っ込んだ議論を始めたいと思っています。基礎的な物質科学の先導的研究所、また国立大学共同利用・共同研究拠点として時代の変化とニーズに対応していくため、適切な部門や施設構成、人員配置等を検討し、将来の物性研にとって必要な施策を見出し、それをもとに次の所長へ着実にバトンタッチしたいと思います。ただ、今の私に明確なビジョンがあるわけではありません。将来構想はやってみないと分からないものです(無責任ですみません)。過去の経験に囚われて頭の硬くなった年寄りにできるのは、今後の物性研を担う、想像力豊かな若い世代の新鮮なアイデアを活かすことです。さらには、コミュニティ、およびこれまで物性研と大なり小なり関わりを持ってくださった多くの「物性研サポーター」の皆様からの、厳しくも温かいご意見が大変重要だと考えています。皆様のお知恵を借りて次世代の物性研の礎を築いていきたいと思えます。

さて、所長業を始める前の2月初めにこの原稿を書いているわけですが、4月から果たしてどういうことになるのか恐ろしくもあり楽しみでもある、というのが正直なところです。12月の所員会后、所長秘書の茂木さんから指令をもらい、1月初めに東條會館なる所で写真を撮ってもらいました。この皇居の西に鎮座する由緒正しい写真館は、おそらく歴代所長の写真撮影が行われてきた場所なのでしょう。驚いたのは撮影の前に同じフロアの美容室に行くようにとの指示で、少しはまともに見られるようにとのお計らいでした、多分。生まれて初めて美容室に行き、眉毛を描いてもらうという未知の体験に戸惑いましたが、このような経験ができるのも所長になるお陰です。ちなみに、たくさん撮った写真の中から女性陣の投票によって選ばれた3枚の写真は、4月以降順次お披露目されることでしょう。また、4月12日の日本武道館での東大入学式にはガウン

を羽織って参列するのだそうです。今後の未体験ゾーンを楽しみにしつつ、責務を果たすべく日々務めて参る所存です。この話の顛末は3年後の「所長退任にあたって」までお待ちください。

4月からの新体制では、副所長を国際超強磁場科学研究施設の松田康弘所員にお願いし、6名の企画委員とともに着実に所の運営を行って参ります。六本木ランチならぬ柏ランチ(@お魚倶楽部はま)で和やかに所の重要事項を話し合う機会があればと思えます。予算に関しては、社会情勢やさまざまな要因による電気代の大幅高騰をどのように対処すべきか、いま非常に厳しい状況にあります。所内の皆様とともにこの難局を乗り越えていきたいと思えますので、ご協力の程どうぞよろしく願いいたします。先に改革、改革と書きましたが、現状にも微力ながらひとつずつ丁寧に対応し、皆様が安心して働ける環境を一層整えていきます。

所長就任にあたっては歴代所員の先輩方から、「自然体である」あるいは「特徴ある運営をやれ」との励ましのお言葉をいただきました。私がモットーとしているユニークであることを忘れずに所長としての重責を全うすべく精進したいと思えます。物性研およびコミュニティの皆様には今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう何卒よろしく願い申し上げます。

